

第3期中期目標期間（平成28～33年度）の主な取組



1 教育に関する目標

● **新たな教育課程の開発・導入に取り組み、これからの学習指導要領に対応した、以下のような資質・能力を備えた教員を養成します。**

- ・ 基礎力・思考力・実践力で構成される汎用的能力を備え、かつ児童生徒に対してその能力を育成できる教員
- ・ 教員としての、豊かな教養、使命感、人間愛等を備えた教員

- **5割以上の授業でアクティブ・ラーニングを取り入れます。**
- **グループワークスペースの設置等、教育環境を充実します。**
- **学校現場での指導経験等を持つ教員の割合向上に取り組みます。**

【学部】

● 学生が各学年段階や卒業時までには修得すべき到達目標及び確認指標である上越教育大学スタンダードと、それに基づいた各科目の具体的達成基準であるルーブリック等を新たに作成

【大学院：修士課程】

● 教科及び教職に係る実践的課題を見据えた研究指導を実施する新カリキュラムを編成

【大学院：専門職学位課程】

● 「学校支援プロジェクト(教職大学院における教育現場での実習を中心とするカリキュラム)」を中核とした新カリキュラムを編成

2 学生支援に関する目標

- 学生の教員への就職を見据え、入学から卒業・修了までの一貫した連続性を考慮した総合的な学生支援を行います。
- **教員就職に向けた全学的・組織的なキャリア教育を推進し、教員就職率の維持・向上に取り組みます。**

【学部】

● **卒業生の教員就職率(進学者と保育士就職者を除く)80%以上を目指します。**

【大学院】

● **修生生の教員就職率(進学者及び外国人留学生を除く)を、修士課程においては75%以上、専門職学位課程においては100%を目指します。**

3 研究に関する目標

● **学校現場が抱えている諸課題やニーズに対応した研究を推進します。**

● **理論と実践の往還のため修士課程と専門職学位課程の教員の協働を推進します。**

● **社会的な要請の高い研究や実践的・先導的な研究を推進するため、研究資金の重点配分を行います。**

● **次世代を担う若手教員の研究推進を支援します。**

4 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標

● **小・中学校等が抱える課題を解消するため、毎年度35校以上で「学校支援プロジェクト」の取り組みを推進します。**

● 教職生活全体を通じて学び続ける教員を対象に、**学校現場が抱える現代的な教育課題を中心に、年間50回以上を目標にセミナーを実施します。**

● 市民を対象に、学校教育に関わる興味・関心の持たれるテーマを設定し、公開講座(年間15件以上)や出前講座を実施します。

● **地域の小学校児童の、土・日曜日における学習やスポーツ、体験学習などの様々な活動を支援します。**

5 グローバル化に関する目標

● **英語のみを使用した授業や小学校英語指導法等の新たな科目を開設・開講します。**

● **キャンパスの国際化を推進するため、毎年度30人以上の外国人留学生受け入れを目標とします。**

● **留学を希望する学生への支援を充実します。**

6 組織運営の改善に関する目標

● **学長のリーダーシップのもと、管理・運営体制を含め業務運営全般のガバナンス機能を強化します。**

● **これからの学習指導要領に対応できる、資質・能力を備えた教員を養成するため、教育研究体制の見直しを行います。**

7 その他の目標

● **大学運営に係るIR(Institutional Research)機能を強化し、大学運営の改善に活かします。**

● **研究費を含めた予算の適正な執行及び研究活動の不正行為を未然に防ぐために全学体制で取り組みを行います。**